

ネットゼロフォーラムしが運營業務委託 質問回答

番号	質問	回答
1	「参加者の募集」は、「しがCO ₂ ネットゼロムーブメント賛同者」のみに対して行うのか？	「しがCO ₂ ネットゼロムーブメント賛同者」にはメルマガ配信により案内するが、「参加者の募集」ではもっと幅広く、県内企業・団体等の隅々まで案内できるようにしていただきたい。
2	仕様書の「3(1)ネットゼロフォーラムしが(全体会)の企画および開催」について、目的は「企業等へのCO ₂ ネットゼロに向けた支援制度や優良事例等の情報提供、参加者同士のネットワーク形成など」となっているが、開催プログラムの中に、目的に沿う内容で、CO ₂ ネットゼロに関する「講演」を加えることは可能か。	「企業等へのCO ₂ ネットゼロに向けた支援制度や優良事例等の情報提供」については、「講演」(講師は、外部講師や県など)のことを指している。
3	仕様書の「3(1)ネットゼロフォーラムしが(全体会)の企画および開催」について、「参加者の募集・受付、広報」にあたり、個社への連絡に加えて、業界団体等の広報での協力を得て、チラシデータ等を広く周知することを考えているが、委託者(滋賀県)において、県内各団体への協力依頼(お願い電話等)を支援いただくことは可能か。	番号1の回答で記載の「幅広く、県内企業・団体等の隅々まで案内」にあたり、滋賀県でも周知は行う予定であるが、プロポーザル参加者にて「幅広く、県内企業・団体等の隅々まで案内」できる方法を検討・提案いただきたい。
4	仕様書の「3(2)分科会の企画および開催」について、分科会A、Bは同日開催を想定されておられるが、午後に各1時間半強として、休憩をはさみ4時間弱といったボリューム感で理解してもよろしいか。	分科会の「目的」や「取組を実施する企業等の目安」等を参考に、プロポーザル参加者にて検討・提案いただきたい。
5	仕様書の「3(2)分科会の企画および開催」について、分科会Bのテーマは、現段階でライフサイクル全体を対象とした実施企業が少なくと推察される。そこで、プログラム内に専門家等による話題提供を加えて、参加企業の意欲と感心を高め、検討や試行を促す構成にしたいと考えるが、方向性としてはあっているか。	分科会の「目的」や「取組を実施する企業等の目安」等を参考に、プロポーザル参加者にて検討・提案いただきたい。
6	仕様書の「6.留意事項」について、「見える化ツールについて、特定の製品・サービスに偏ることなく、客観的かつ公平に情報提供を行うこと。」とのことであるが、取組を実施する企業等の目安は合計10者以上のため、それぞれが異なる(利便性、レベル、対象)ツールを活用する状況が予想されるが、それを前提として分科会を進行することでよろしいか。	仕様書に記載の「見える化ツールについて、特定の製品・サービスに偏ることなく、客観的かつ公平に情報提供を行うこと。」とは、例えば「3回の分科会を通して特定の1社の製品・サービスのみ紹介する」といった主観的・不公平な情報提供を行ってはいけないという趣旨である。それを前提とした内容であればよい。